

屋外タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要		石油化学工場			
貯蔵する危険物の概要	引火点	40℃	貯蔵温度	30℃	
基礎、据付の方法の概要	鉄筋コンクリート製架台にアンカーボルト6本を使用し据付ける。				
タンクの構造設備	形状	縦置円筒型	常圧・加圧 ( kPa)		
	寸法	4, 400ID*7, 200Hmm	容量	全容量109.478ℓ 空容量9.478ℓ (8.6%) 申請容量100.000ℓ	
	材質、板厚	SS400 屋根厚板4.5mm, 側板厚6.0mm, 底板厚6.0mm			
	通気管	種別	数	内径又は作動圧	
		無弁通気管	1	50 mm kPa	
	安全装置	種別	数	作動圧	
				mm kPa	
液量表示装置	フローと式液面計	引火防止装置	有・無		
不活性気体の封入設備	なし	タンク保温材の概要	なし		
注入口の位置	防油堤内	注入口付近の接地電極	有・無		
防油堤	構造	容量	排水設備		
	鉄筋コンクリート	11.0m*11.0m*1.0m3 基礎容積 7.6m3 実容積113.4m3 (113.4%)	堤外に排水弁を設け油分離層を経て構内排水溝に放流する。		
ポンプ設備の概要	電動ポンプ 2基				
避雷設備	タンクに接地アースを設ける。				
配管	SGP, 弁は鋳鋼				
消火設備	第3種固定泡消火設備 2基 第5種粉末ABC20型 2個	タンクの加熱設備	なし		
工事請負者住所氏名	〇〇市 (〇〇町) 〇〇製作所 所長〇〇 〇〇			電話	〇〇〇-〇〇〇〇

## [屋外タンク貯蔵所構造設備明細書記入要領]

- 1 「事業の概要」欄は、事業の内容について具体的に記入する。
- 2 「貯蔵する危険物の概要」欄中、「引火点」欄は、中仕切りタンクの場合、最も低い引火点を記入し、「貯蔵温度」欄は、加熱設備等常温以外の状態で貯蔵する場合に記入する。
- 3 「基礎、掘付方法の概要」欄は、例えば「〇mP C杭を〇〇本打設し、その上に厚さ〇.〇mの鉄筋コンクリート基礎を設ける。タンク下部は、アスファルトモルタルを敷設する。」等と記入する。
- 4 「形状」欄は、形状及び屋根形状を「縦置円筒型（コーンルーフ）」「横置円筒型（中仕切り）」等と記入する。
- 5 「常圧・加圧の別」欄は、5.0kPa以下のタンクについては「常圧」に○をつけ、その他のタンクについては「加圧」に○を付け、その圧力を記入する。
- 6 「寸法」欄は、内径、高さ、側板高さ、胴長、鏡出等を記入する。
- 7 「容量」欄は、「内容積〇〇〇リットル、空間容積〇〇〇リットル（〇.〇％）、容量〇〇〇リットル」と記入する。
- 8 「材質、板厚」欄は、縦置円筒型の場合、「底板〇〇mm S S 4 0 0、側板最下段〇〇mm S S 4 0 0、2段〇〇mm S S 4 0 0、・・・最上段〇〇mm S S 4 0 0、屋根板〇〇mm S S 4 0 0等」と記入し、横置円筒型の場合は、胴板、鏡出について、角形の場合は、側板、底板、屋根板について材質、板厚を記入する。
- 9 「通気管」欄中、「種別」は無弁通気管又は大気弁付通気管の別、「数」はタンクに設けられる数、「内径又は作動圧」は無弁通気管にあっては内径、大気弁付通気管にあっては内径及び作動圧をそれぞれ記入する。
- 10 「安全装置」欄は、圧力タンクに該当するタンクについて記入するものとし、「種別」は規則第19条第1項各号に掲げる種別、「作動圧」は「〇〇kPa」等と記入する。
- 11 「液量表示装置」欄は、例えば「浮子方式による液面指示計」等と記入する。
- 12 有・無のいずれかに○を付ける。
- 13 「不活性気体の封入設備」欄は、設備等の概要を記入する。例えば「窒素ガスシール。増減圧時の警報設備を設置」等と記入する。

- 14 「タンク保温材の概要」欄は、タンク外面に保温材が使用されている場合に、その材質、固定方法等を記入する。
- 15 「注入口の位置」欄は、例えば「No.○タンクの南西側○○m に注入口（注入口数○口）を設置。」等と記入する。
- 16 有・無のいずれかに○を付ける。
- 17 「防油堤」欄中、「構造」は、例えば「鉄筋コンクリート造（高さ○○mm、厚さ○○mm）」等と、「容量」は「○○○リットル」と、「排水設備」は、例えば「集水桝○基を防油堤内に設け、これより金属管により排水。堤外吐出口付近にしゃ断弁を設置」等とそれぞれ記入する。
- 18 「ポンプ設備の概要」欄は、ポンプ種類、基数、防燥構造、ポンプ室の場合は建物構造等を記入する。例えば、「ギャーポンプ○基、モーター○kW○基（受入）モーター○kW○基（払出）」等と記入する。
- 19 「避雷設備」欄は、J I S A 4 2 0 1によるとともに、その概要を記入する。
- 20 「配管」欄は、材質、口径、接続方法、防錆・防食方法を記入する。
- 21 「消火設備」欄は、該当設備を記入する。
- 22 「タンクの加熱設備」欄は、タンクに設置する加熱設備の概要及び加熱媒体を、例えば、「S G P 4 0 A スチームコイル」等と記入する。
- 23 「工事請負者住所氏名」欄は、工事を請け負う法人の名称及び住所並びに工事責任者の氏名、電話番号を記入する。